

笛吹市探訪

『ふるさととの祭り』十 「大石寺の火渡り」

桜の花も見頃を迎える4月4日、境川町の石橋地区では、五穀豊穡・無病息災・家内安全・交通安全等の厄除けを祈願して、両脇に薪を焚き上げた中を歩く火渡りをはじめとしたお不動さんのお祭りが行われます。

臥竜山大石寺
お不動さんが安置されている寺院は臥竜山大石寺といい、宗派は真言宗（1）で創建は定かではありませんが、寛文年間（1661〜1672）に衰廃していたところを順覚法印という僧が中興したと伝えられています。

お祭りの流れ
お不動さんのお祭りは大きく分けて3つの行事に分けられます。

始めに寺の堂内で山伏姿の法印さんが護摩焚き（2）を行うウチゴマ（内護摩）、次に境内で行うソトゴマ（外護摩）、護摩焚きが終わると火渡りと続きます。

まずは、お寺の堂内で15分ほどウチゴマを行います。祭場は本尊前に設けてある半間四方ほどの祭壇で、その中央に焚き上げ場があり、祭壇の前には小さな鳥居と色

紙で作った5体の人形（向かって左から緑・赤・黄・白・紫）が供えられています。まず薪に火をつけ、太鼓の音と共に真言を唱えながら薪を焚き上げます。その後、御幣（3）で祓いの儀式を行い、参拝者に配る木札を火であぶりま

す。
次に境内に出て、ソトゴマを行います。境内には、しめ縄を張り会場を設けます。焚き上げの場は、中ほどに通路を通し両脇に細長く薪や木枝を積み上げていきます。まず、御幣を使って祓いの儀式



ウチゴマの様子

を行い、続いて弓矢を四方に射て、更に刀で四方を切り払います。その後、願文を読み上げて厄除けの祈願をし、薪に火をつけます。火の勢いが弱まったところで、清めの塩を撒き、法印さんの渡り初めが行われます。渡り初めはまず刀を持って、次に参拝者に配る木札を持って渡り、最後に赤ん坊を胸に抱いて渡ると、渡り初めの儀式は終わりとなります。塩を撒いて清めると、一般参拝者の火渡りが行われます。



法印さんによる火渡り

を家に持ち帰れば、一年間防火守護のお守りになるとの言い伝えもあり、毎年消し炭を拾って帰る人もいます。

皆さんも清らかな火の中を渡って厄除けを祈願してみませんか。



子どものすこやかな成長を祈って渡る

- 1 真言宗…空海によって9世紀初頭に開かれた仏教の宗派。密教を基盤としている。
- 2 護摩焚き…お不動さんを本尊としてその前に壇を設け、護摩木という特別な薪をたいて、諸々の願いを成就することを祈る真言宗の修法。
- 3 御幣…祭祀で用いられる2本の紙垂を竹または木に挟んだもの。